

以下の文章は「Blockchain_fortune」という記事の Maersk に関する部分を日本語に訳したものである。

【運送】

今年の春、世界最大の船会社 Maersk は貨物を追跡する際にブロックチェーンを用いるテストを行い成功させた。このテストには Maersk だけでなく、運送業者、オランダ関税、米国国土安全保障省の第三者が関与しており、すべてがコンテナを遠隔地から追跡している。ブロックチェーン技術は技術者が暗号作成に関与しているため、貨物の移動中に商品を盗んだり改ざんしたりするのが難しく、輸送中に消費する時間を短縮することができる。

【銀行業】

銀行業界には洗練された仕組みがあるにもかかわらず、株式売買や送金などの基本取引を確認するのに数時間から数日かかっており、その手間のかかるシステムに依然として悩まされている。しかし、2016年に Barclays はブロックチェーン技術を使った画期的な取引（バター輸出を伴う）を行っており、それらが継続して行われているため上述のシステムは変化しているといえるだろう。近い将来、ブローカーや情報センターなどの仲介業者の混乱解消だけでなく、銀行サービスの迅速化もされるだろう。また大手銀行は、世界規模の銀行取引に使用される SWIFT システムの再構築にブロックチェーンを使用することも計画している。

【家畜】

ウォルマートは他に先駆けてブロックチェーンを用いた食品運搬を行っていた。2016年には他の小売大手もブロックチェーン技術を活用し始め、中国産の豚がアメリカのテーブルにどのように移動したかを追跡している。8月、アーカンソー州の農民集団は、家禽を扱う取引を追跡するために、チキンレートを QR コードを使用した際は、企業が食品の腐敗を減らし病気の流行を防ぐ助けになった。

【法律】

住宅販売や業務購入や従業員契約などの契約では、弁護士や裁判所が必要とされる。そんな中、現在、より多くの企業が自ら実行する「スマート契約」というものを実験している。例えば、契約当事者が死亡した場合、ブロックチェーンシステムはエスクローからの資金を解放することができるようなものだ。特にアリゾナ州のような州では、スマート契約が有効であることを確認する法律が成立しているため、すぐに変わる可能性がある。

【ダイヤモンド】

ダイヤモンド産業は、メンバーと顧客が非常に近い距離で石の信憑性について同様の懸念を持つ産業である。一方で Everledger は色や透明度などのダイヤモンドの特徴的項目を 40 件以上記録することができ、それらをブロックチェーンに登録できることから、この業界で成功するのは当たり前ともいえる。現在 Everledger は 100 万以上ものダイヤモンドのデジタル化を行っており、他の業界への分岐も計画している。例えば特に優れた偽造防止記録を必要とする高級ワインなどの業界である。



参考文献

- blockchain_fortune

以上